

ゆりはま 議会だより

Vol. 80

令和6年2月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



湯梨浜町議会
ホームページはこちら



町民生活を支援

一般質問

ふれあい意見交換会

委員会レポート

- 2
- 9
- 16
- 18

「自分で印刷、自分だけの一枚」
(月夜繪葉書店、すろうぷれす)
☆裏表紙にインタビューあり

12月
定例会

一般会計補正予算

3億8968万円を 追加し

総額

114億1559万円

令和5年12月定例会は、12月8日から19日まで開催されました。

今定例会に提案された令和5年度一般会計補正予算などの議案を慎重に審議し、提案された19議案すべて、原案のとおり可決及び同意しました。

また、議員発議による国に提出する意見書2件を原案のとおり可決しました。

補正予算

町内消費を喚起し、町民生活を支援

・物価高騰対策商品券
発行事業

5250万円

エネルギー価格・物価が高騰し、町民の生活や経済活動に大きな影響を与えている。

地域経済の活性化と町民の生活を支援するため、プレミアム付き商品券を発行する。

1冊1万円で購入すると町内商店・事業所で1万2500円の買物ができる商品券を、2万冊発行する。

認定農業者などの経営改善

・がんばる農家プラン
事業

240万円

意欲的な農業者に対して、規模拡大、低コスト化などの経営改善に向けた原油高騰緊急支援対策を行う。

水稻栽培の安定化を



導入予定の遠赤外線乾燥機

湯梨浜の魅力 PR

・湯梨浜町観光商品開発・PR事業

528万円

ふるさと納税と連携し、町の地域資源や新規観光商品を開発。また、既存の観光商品と併せてPRし、本町の魅力や特産品を全国に発信。関係人口の創出や観光誘客を推進し、産業全体の振興を図る。

図るため、認定農業者の遠赤外線乾燥機導入を町が支援する。

「物価高騰対策」さまざまな支援

非課税世帯に 7万円給付

・電力・ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金
1億999万円
物価高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯に対して1世帯当たり7万円の現金を支給し、生活・暮らしの支援を行う。

こども園の食材 費の値上がりを 補助

・各こども園運営経常経費・私立保育所等物価高騰対策事業
193万円
物価高騰により、こども園の副食費が、1人分につき200円増額となった。これを1年分町が補助するもの。公立、私立すべての園が対象となる。

水道基本料金を 補助

・水道料金緊急支援給付金
61万円
・水道事業会計繰出金
2114万円
エネルギー・食料価格などの物価高騰により影響を受けている町民、事業者に対する負担軽減策として、水道料金(基本料金)3か月分を支援するもの。

条 例

印鑑証明がスマホ 認証でコンビ ニ発行可能に

・湯梨浜町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
コンビニエンスストアの複合機で住民票などの証明書を発行するサービスに関して、これまでマイナンバー

カード本体をかざす必要があったが、条例の一部改正によりマイナンバーカードの機能を搭載したスマートフォンによる認証でも可能に。

産前産後の国民 健康保険料を一 定期間減

・湯梨浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例
子育て世帯の負担軽減や次世代育成の支援を行う。令和6年1月から、国保の被保険者で出産する人の出産予定日前後の一定期間の保険料が令和6年1月から減額となる。申請が必要。

最寄りの役場で 戸籍証明書等の 請求が可能に

・湯梨浜町手数料条例の一部を改正する条例
これまで戸籍証明書

などは、本籍地の役場に請求する必要があった。令和6年3月1日から戸籍証明書などが広域交付可能となり、最寄りの役場での請求が可能になった。

そ の 他

湯梨浜町教育委員 会委員の任命 同意

・住所 湯梨浜町大字
田後665番地12
・氏名 朝倉 仁実
・生年月日 昭和55年
9月8日

湯梨浜町人権擁 護委員の候補者 の推薦

町人権擁護委員の候補者について、議会は町から意見を求められた。

パレスチナとイスラ エルの即時停戦に向 けた行動を日本政府 に求める意見書

ガザ地区は、悲惨な人道状況及び治安状況にある。そこで、パレスチナとイスラエル双方に対し即時停戦に向けた交渉を開始するよう、日本政府に行動を求める意見書を提出した。

・住所 湯梨浜町大字
園676番地
・氏名 森 一子
・生年月日 昭和37年
1月18日



印鑑証明などが発行可能
(コンビニ多機能端末)



子どもたちにおいしい給食を
(たじりこども園)

若者が町づくりを提案

☆町が、ゆりはま若者会議を開催した。高校1年生から大学院生までの7名が参加し、町長に対して、学生同士が交流する合宿や観光プランの提案、公民館を使った居場所づくりの提案を行った。

問 来年度以降、この若者会議をどのように進めていくのか。

答 今回の反省点もあり、今年度の反省点もあり、毎年進化させ次年度以降も開催し、若者に町政に参加していただく機会の提供を行いたい。



報告会で堂々と発言する若者たち

問 来年度予算で若者の意見を取り入れますと切り切るぐらいの積極姿勢がないと次に応募する人が出てこない。町としてどう動くのか。

答 目に見える形で実現していくことは、若者が会議に参加する動機となる。提案内容を一部でも実現できる予算になるよう調整していく。

問 若者会議のことを町民は知らない人が多いと思う。実現した際にも広報などでもPRしてはどうか。

答 TCCや町報での広報は行ってきた。今後は、開始予定のLINEでの情報発信やマスコミへの資料提供を行っていききたい。

町の魅力をPR

☆湯梨浜まちづくり株式会社に、体験型観光商品の開発や、本町の魅力や特産に

関する情報発信業務を委託する。

問 現在、担当課ごとにPR事業を行っているが、一体的に町をPRする方法は考えているのか。

答 商工会からも観光の情報発信の一元化について提言があった。庁舎内で連携し、町内の発信力の強い方にも力を借りて訴求力のある情報発信をしていく。

農業経営への影響を緩和

☆国が、肥料価格の高騰による、農業経営への影響を緩和するため、化学肥料の2割低減に向けた地域の取り組みを支援するなど、追加対策を実施する。

問 堆肥などの利用拡大支援では、散布代が上げられているが、機械散布、人力散布どちらも支援するのか。



補助対象となる堆肥等散布機

答 自分で散布される分は対象にならない。支援の対象は農協など業者へ委託され、その費用が掛かる部分に関して支援する。

問 土壌分析機器や堆肥散布機の購入は、認定農業者、集落営農組織を対象に支援するが、導入した機器で、それ以外の人も分析や肥料散布できるのか。

答 同機器については、認定農業者、集落営農組織がその圃場での使用が対象。集落営農組織が散布機などを購入し、他の農業者から作業受託されるのは問題ない。

水明荘リニューアル

☆第1期の改修工事が始まる。リニューアルオープンに向け、現在、プランの作成、営業、宣伝方法などを検討。口コミ総合評価は4.3。夕食部門は4.5。接客サービス部門についても4.4と、お客様から好評をいただいていることなど、水明荘運営状況の報告を受けた。(関連記事は、15ページ)

問 改修工事期間中の営業は。

答 第一期の改修は西館の工事を行い、令和6年2月15日までは使用できない。工事以外の場所は営業を行う。



工事が進む水明荘西館

問 口コミの実態はどうか、どのサイトを利用しているか。

答 じゃらんの予約サイト。宿泊後の口コミで1週間に2〜3件の評価がある。

問 評価が高いが、営業に活かす方針は。

答 定期的にカニプラン、修学旅行プランなど広告宣伝し、閲覧上位となるよう努める。

問 水明荘独自の観光と合宿をつなげるプランはあるか。

答 地元高校との練習試合を兼ねた大会の企画を予定している。

町税の納期を4期に

☆国は自治体に対し、令和7年度末までに、住民情報系業務のシステムを標準化

するよう求めている。

本町では、町県民税、町税、固定資産税の納期を8期としているが、この機に合わせて全国標準の4期制に改正する。

問 国保・介護・後期高齢者の保険料の納期は現状と変わらず8期だが変更はないのか。

答 国保・介護・後期高齢者については、別の法で規定されている。例えば国保は8期が標準となっている。

デジタル化で利便性向上

☆誰一人取り残さないデジタル社会の実現のため、DX推進本部を立ち上げる。外部からアドバイザーを招き、行政業務の効率化や住民の利便性を図る。

問 公式LINEで、町民が道路の不具合を報告できるようになると思うが、工事

の完了について、町はどのように町民に報告するのか。

答 道路は国や県、または地元の方が管理している場合がある。情報を受けてからどのように処理していくか、今後の課題がある。協議しつつ、実際に運用しながら課題に対応したい。

委員会と町が中世荘園「日根荘遺跡」に関する情報を共有

本委員会は、10月に泉佐野市で調査した中世荘園「日根荘遺跡」を活かしたまちづくりについて情報共有するため、町に調査結果を説明した。

議員も町も「東郷荘下地中分絵図」を活かしたまちづくりに積極的であり、町は全国中世荘園サミットへの参加を検討することであった。(関連記事は、18ページ)

病児保育施設、1市4町が合意

☆町内に設置予定の新たな病児保育施設の計画について、中部1市4町で取り組むことで合意が得られた。
令和7年1月の運用をめざす。保護者の要望もあり、スケジュール内に開始できるよう進めていくという報告を受けた。

問 事業者との話し合いはどのようになっているか。

答 事業計画やスケジュールについて協議を実施している。令和6年4月から設計に着手するとのことを確認している。

問 施設整備について事業者の負担は。

答 10分の3ずつを国・県・町で負担し、残りの10分の1が事業者負担となる。

問 今後の進捗に向けて、懸念事項はあるか。

答 施設利用者数の見込みや各市町の負担金の割合など注意深く見ていく必要がある。

問 運営についての計画や想定が肝心、早い段階で示してほしい。

答 早めの説明に努める。

町営住宅の建設費、再度契約変更

☆資材価格の急激な変動に伴い、請負代金を変更した。物価スライドを適用し、令和4年度に契約金額



病児保育を運営予定（アロハこどもクリニック）

変更を行ったが、物価高騰は続き、業者より協議の申し立てがあった。内容を精査し、工事額を増額した。

問 令和4年度の変更と今回の変更との根拠の違いは。

答 令和4年度は、事業契約書に基づき建築費指数で算出した。今回は増額内容、工事内訳書の提出を求め精査した。工事内訳書精査の方が安価であり、こちらを適用した。

問 新上町団地完成時期は遅れるのか。

答 9月時点では、順調に推移していた。型枠工の確保が難しいと業者より報告があり、完成予定時期は、令和6年3月上旬にずれ込む。

問 今後、解体・引越しなどの諸費用の変更はあるのか。

答 令和6年度では、駐車場整備の変更があり、減額の可能性がある。

水曜の夜間延長窓口、月末の1回に変更

☆毎週水曜日に行われている夜間窓口延長が令和6年4月より、月末の水曜日の1回のみに変更される。

問 変更の主な理由は何か。

答 コンビニでの手続きなどが増えてきて利用者が少なくなってきたことや、費用対効果の面から。

問 いつ頃からデジタルがメインになると想定するか。

答 役場全体で推進し徐々に進んでいる。デジタルが使えない町民に対しては窓口でサービスを提供したい。

問 変更をきちんと周知されたい。

答 早いうちから周知に努めたい。最後の水曜が祝日の場合、前倒しの水曜となるなど、丁寧に周知を図る。

町敬老会4年ぶりの開催

☆75歳以上の方を招待し、3地域3会場で4年ぶりに開催された。出席者は406人で出席率は13.3%だった。

問 どの地域も参加者が減っているが、要因は何か。

答 コロナがまだ怖いとの声があった。また、3年間やっていなかったことが影響したのでは。

問 来年度の開催にあたり、暑さ対策の具体案はあるのか。

答 令和2年度のアンケート結果は、今までどおりが半数。3年度には区で話し合っていたとき、6割が町主催を希望された。当面は3地域で開催予定。



4年ぶりに開催された敬老会

問 1番最初に冷房のある泊の活性化センターはまなすで行い、その後日程を調整し、羽合・東郷地域の開催を考えている。

問 この出席率ならコロナ禍の時のように、100歳以上の方、米寿・ダイヤモンド婚の限定で、1箇所表彰式を開催してはどうか。

答 令和2年度のアンケート結果は、今までどおりが半数。3年度には区で話し合っていたとき、6割が町主催を希望された。当面は3地域で開催予定。

介護保険料は増加の見込み

☆第9期湯梨浜町介護保険・高齢者福祉計画が報告された。

基金を取り崩しても、介護保険料は月額540円の増加が見込まれる。

問 策定スケジュールでパブリックコメントを実施するが、意見は出るのか。

答 介護保険全体の計画なので、やる価値はあると考える。

問 基金を取り崩したら、今後さらに住民負担が増えるのでは。

答 負担軽減のため基金の一部を一旦は切り崩すが、今後また積立をしていく予定。

問 特別養護老人ホーム「あずま園」が満床にならない原因は。

答 介護従事者が不足しているためだが、体制を整えており開園時より受け入れは増やしている。

来年度からレンタルバスで送迎

☆特定地域選択制により、羽合

地域から泊小学校に児童を送迎している。社会福祉協議会からマイクロバスを借り受けているが、コロナ禍が明け、貸し出し頻度が増え、貸し出しが困難と申し入れがあった。町教育委員会で検討し、レンタル案に至った。

問 利用児童数は、どう変化してきたか。

答 平成29年度6人からスタート。今年度は21人で来年度は22人の予定。

問 なぜレンタルの方法を採用したのか。

答 スクールバス委託・路線バス・リースなどを検討した。費用や準備期間などを考慮し、1年間のレンタルが現実的と判断した。

問 選択制をどのように案内しているか。

答 11月くらいまでに希望を取り、学校施設体験と説明をし、12月に最終希望の確認をしている。

本会議での採決結果

12月定例会

議案の内容 (○：賛成 ×：反対など)	米田	濱中	中森	光井	寺地	増井	信原	松岡	小川	磯江	結果
全議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成10人 可決

※議案の採決は、河田議長を除く10人で行います。

請願・陳情審査

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

陳情

件名	陳情者名	採決結果	委員会の意見
「子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員とさらなる賃金引き上げを求める意見書」の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 石井 由加利	採 択 (全会一致)	国に意見書を送付
辺野古新基地建設の断念と日米地位協定の改定、及び安全保障による米軍基地が必要であるならば全国で平等に負担するよう求める意見書の提出に関する陳情	沖縄に応答する会 @山形 代表 漆山 ひとみ	不 採 択	既に議論し方向が出ており、改めて議論する必要はないため。

ファクシミリ・電子メールでの提出も受け付けます！

請願、陳情の提出時に本人確認ができる書類を提出いただける場合は、ファクシミリ・電子メールでの提出が可能です。本人確認書類や記載内容、提出先など手続きに関することは町ホームページをご確認いただくか湯梨浜町議会事務局へお問い合わせください。



一般 質問

町政を問う



12月定例会では、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。一般質問とは、議員の日常の活動と調査研究、住民の声や自身の考え方にもとづき、町長や教育長の方針を問うものです。

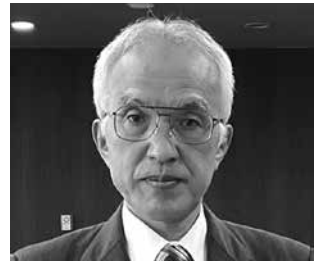
本町議会の質問時間は、1人60分以内で、質問回数に制限はありません。

質問者	質問事項	ページ
松岡 昭博	学校給食の地産地消率向上	10
小川 遊	町の将来展望と、デジタルに対応できるまちづくりを	10
米田 強美	余裕のある工期設定を	11
	「孤独・孤立」対策はどうなっているか	
信原 和裕	豊富な歴史・文化遺産を生かした町づくりを	12
	急激な人口増の羽合地区、諸計画の見直しが必要では	
増井 久美	米の高温障害に対する補償は	13
	保育士不足の対策を急げ	
中森圭二郎	こども園・保育園の入園選考基準の公表を	14
	移動型遊び場「プレーカー」の導入を	

学校給食の 地産地消率向上を

町長

町地産地消推進会議で検討



まつおか あきひろ
松岡 昭博



地産地消率の向上が期待される
学校給食

☆町の教育振興計画には、学校給食の地産地消を進めるとある。地産地消率の目標は、令和7年度85%となっている。

【松岡】学校給食に、何を目的に地産地消の考え方を取り入れ、地産地消率の目標値は、何のために設定してあるのか。

【町長】学校給食地産地消は、より健康的な食生活の普及、地域の活性化を図ることを目的として町地産地消推進会議を設置して検討している。

目標値設定の理由は、地産地消を通じた地域理解や食文化の継承を図るためである。

【松岡】近年、地産地消率は70%台に低下してい

るが、なぜか。そして、今後、どのようにして目標を達成するのか。

【教育長】目標値の低下理由は、①給食センターが一つになり一度の食料

量が大きく増加、県内産調達が厳しくなっている。②コロナにより臨時休校などで安定した調達ができなかった。③2年度以降異常気象により使用頻度が高い県内産食材の調達が厳しかった。対策として地産地消会議で鋭意努力している。

【松岡】町は、JYA生産組合などと連携して生産振興を図り、地産地消率を高めていくべきではないか。

【町長】町内連携強化については、地産地消推進会議で情報共有してあらゆるチャンネルで働き掛けを行なっている。その他に、町担当課、給食センター所長、学校栄養教諭など5名で対策検討している。

町の将来展望と、デジタルに対応できるまちづくりを

町長

町デジタル田園都市総合戦略で 取り組む



おがわ ゆうや
小川 遊

【小川】統計を見ても、少子高齢化の構造はそのままに、総人口はさらに減っていくことが予測されるが、本町の将来展望は。

【町長】2060年には1万1558人の予想。2015年の1万6550人に比べ3割以上減少。さまざまな対策を講じ2060年に1万2600人台を目指す。

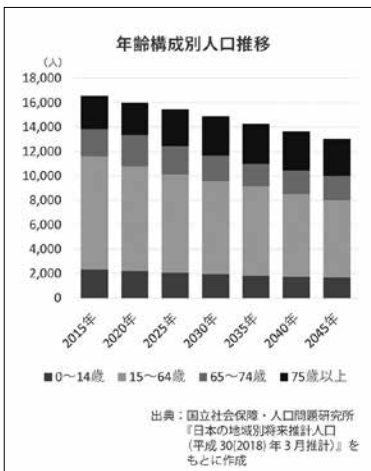
【小川】平成16年の合併から20年近くが経つ。今後、合併特例債などの有利な財源が減少していくことが見えている中で、本町の展望は。

【町長】町の財政運営は概ね順調であるが、毎年

度の地方債発行額を元金償還額以内にする、国庫の交付金の獲得、交付税算入率の高い地方債の活用など、気を引き締めて財政運営を行う。

【小川】生産年齢人口が減少し人手不足が進むので、デジタル化は今後も不可避である。町民が今のうちからデジタルに慣れ親しむ機会や場所が求められるが、本町の考えは。

【町長】町デジタル田園都市(まち・ひと・しごと)総合戦略のもと、情報化アンケートなどで、町民の情報入手やデジタル活用状況を把握し、デジタル化推進施策に反映させていく。



総人口、特に生産年齢人口の減少が目立つ

余裕のある工期設定を

町長

現場・季節条件を考慮し、発注



よねだ つよみ
米田 強美

☆公共工事の工期設定に余裕がないのは問題ではないか。

【米田】草加市の建設工事規制改革会議において、契約行為の年度区分規制緩和、継続費の弾力運用、複数年度ローリング予算制度、国庫補助事業の運用改革などが提案されたが、これについて町長の所見を問う。
【町長】工期の設定については、国が定める工期設定指針で工事の種類と工事金額により、目安の標準工期が算出される。町では、これに加えて、現場条件、季節条件を考慮し、標準工期より余裕を持った工期で発注して



時間外労働の規制が始まる建設業界
(新上町団地の建設工事)

いる。

「草加市の規制改革会議説明資料」については、国は現行制度で対応できるとしている。

【米田】国交省では熱中症予防として、費用の計上、真夏日の割合で補正がある。また、猛暑日を考慮した工期と工期変更のほか追加費用等、対応が改良されている。熱中症対策について町長の所見を問う。
【町長】建設協議会では、熱中症対策での要望はないが、引き続き意見を聞きながら、現場環境改善費などの検討を行っていく。

「孤独・孤立」対策は

どうなっているか

町長

新規事業でアウトリーチ型支援に取り組む

【米田】深刻な孤独を感じる人たちはコロナ禍前より強く孤独を感じるといわれている。「孤独・孤立対策の重点計画」の推進状況は、コロナ禍で人々の意識に大きな変化があった。町においても事業の廃止や見直しが必要では。

【町長】困りごとに関する相談窓口は、町報やホームページを活用して情報発信してきた。令和6年度から、アウトリーチ型（訪問型）支援事業に新規に取り組む。事業については、検討を重ね必要な事業を見極めていきたい。

【米田】高齢者の熱中症対策として、エアコン使用の重要性周知はどうしているか。
小中高等学校では、熱中症が毎年5千件程度発生。学校とこども園での熱中症対策は今まで以上に必要ではないか。

【町長】広報やチラシなどで啓発を進めている。今後も早い時期から周知を行い、強化を進める。こども園では、空調の適切な利用や、水分補給など環境を整え対応している。学校では、①健康観察による体調管理を徹底すること②水分補給や休憩時間を確保することを徹底している。



訪問支援の要となる総合福祉課

豊富な歴史・文化遺産を 生かした町づくりを

町長

博物館などの設置には 十分な検討が必要



のぶはら 信原 かずひろ 和裕

【信原】本町は歴史の宝庫。古代から近代までの様々な遺跡・遺物・資料などがたくさんあるが、適切に保存・活用されているか。

【町長】歴史・文化遺産の展示施設や内容は限定的だが、展示以外にも文化財の活用を図っている。

【信原】「歴史・文化行政は金にならない。役に立たない」との意見があるが、町長の所見は。

【町長】歴史や文化財は、多くの先人達が培ってきた地域の宝であり、これらを大切に保護し後世に伝えていくことが私たちの使命と考えている。



文化財の保存・展示をしている
北栄みらい伝承館

【教育長】出前講座、シンポジウムの開催や史跡などを見学するウォーキング、副読本の発行などを行っている。

【信原】本町は、来年で合併して二十周年になるが、この分野はまだ一本化できていないと思われる。羽合・泊地区には歴史民俗資料館があるが、東郷にはない。東郷に、全町を網羅する博物館を作ってはどうか。

【町長】文化財を総合的に展示できる施設を設置するとすれば、どこにどのようなものを設けるのかなど、十分に考えることが必要である。

急激な人口増の羽合地区、 諸計画の見直しが必要では

町長

第3期計画で検討

☆羽合地区は、鳥取県一、二の人口増加地区と言われている。

【信原】こども園・小学校・学童保育等は、これまでの中長期計画で対応できるか。

【町長】こども園については、保育士確保が問題で、保育士確保に努めている。放課後児童クラブは、希望者全員の受け入れができていない。

【教育長】長期的な視点で、児童数のバランスなどを考えて対応したい。

【信原】これまでの増築に次ぐ増築や職員のやり繰り算段の対応ではなく、もっと根本的な対応が必要ではないか。



人口増加が進む羽合地区

【町長】令和6年度に「第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定することとしており、事業量を適切に見込み、取り組んでいく。

【教育長】教職員の人員配置は、基礎定数と加配定数とで構成されている。町は支援員を雇用し加配を行っている。

【信原】羽合地区には家数が150〜400軒の自治会・公民館が多くあり、課題がたくさんある。行政は、大きい自治会・公民館の問題は放置されるのか。

【町長】現在、各区に訪問して各集落の課題解決に向けた伴走型支援を行っている。

米の高温障害に対する補償は



増井 久美

町長

農業共済などの十分な活用を

☆夏の高温障害で、米の一等米比率が全国的に下がっていると言われているが、本町ではどうなのか。肥料や資材などの高騰が続く中、高温障害が追い打ちをかけている。米農家を守る施策が必要である。

【増井】学校給食を無償化し米農家との契約栽培をしてはどうか。

【教育長】学校給食の無償化は、今でも給食費補助や町内産米の使用をしており、難しい。

【増井】こども園への米飯持参をやめて、園内調理にして町が米代を負担

してはどうか。

【町長】こども園の米飯園内調理も検討はしているが、米の消費拡大にはならないと思う。

【増井】価格保証・所得補償の考えはないか。

【町長】収量が減っても単価が上がって影響が少ないので、所得補償などは考えていない。

【増井】今回、収入減の米農家への町独自の一時の支援はないか。

【町長】町独自の一時的支援は考えていない。農業共済の利用などで対応していただきたい。



本年度産の米のできは？

保育士不足の対策を急げ

町長

町独自の採用試験を

実施している

【増井】保育士不足が続いている。町はアンケートをとって実情を把握することだったのだが、結果はどうだったのか。

6月議会において、保育士採用試験は中部町村会で行うため、給付型奨学金制度は作れないとのことだった。

なぜ採用試験を中部町村会でするのか聞きたい。保育士不足は本町だけの問題ではない。

中部4町で、給付型奨学金制度をつくって、保育士不足対策を急ぐべきだと考えるが、町長の考えを問う。



楽しく遊ぶ子どもたち
(はわいこども園)

【町長】10月の町営こども園全職員面談に基づいたアンケート調査は集計中であり、結果が出れば職場環境や処遇環境整備などに役立てたい。

中部町村会での保育士採用試験は、縁故採用へ

の批判から県主導で始まったこと。今は一次・二次とも町独自でも実施している。

給付型奨学金は今も全国レベル・県レベルの制度がいくつもあり、その活用をしてほしい。

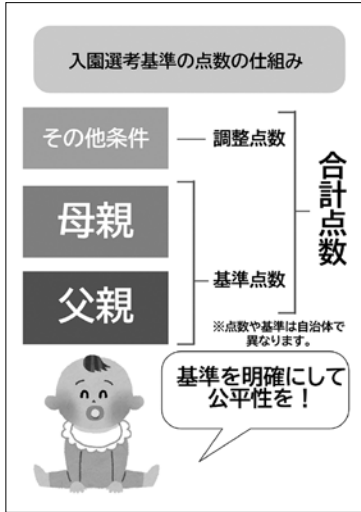
こども園・保育園の入園選考基準の公表を

町長

来年度募集に向け努力



なかもり けいじろう
中森 圭二郎



公表が検討されるこども園・保育園入園選考基準

【町長】2歳未満までを支給対象として、令和4年は105人に月3万円の家庭子育て支援事業給付金を支給している。

【中森】育休を取れない方が0歳児入園を断られた場合、世帯収入が減ってしまう。町としての対策は。

【町長】公表することは必要と考える。来年度に向けて公表できるよう努める。

【中森】本町では、こども園・保育園の入園選考基準が公表されていない。0歳児の入園がかなわないケースがあるため、公平性を担保するため、基準を公表してはどうか。

【町長】現在、依頼会員113名、提供会員46名、両方会員は14名が活動している。活動場所は依頼・提供会員の家庭、子育て支援センター。報酬は会則に基づき、時間500円。報酬の増額は考えていない。ウェブ登録だけの申し込みでは困難だが、利便性の向上は考えたい。

【中森】民間保育サービスの代替制度として、ファミリーサポート事業がある。提供会員への報酬をあげたり、会員登録のデジタル化を進め、使いやすい制度にしてはどうか。

【町長】現在、依頼会員113名、提供会員46名、両方会員は14名が活動している。活動場所は依頼・提供会員の家庭、子育て支援センター。報酬は会則に基づき、時間500円。報酬の増額は考えていない。ウェブ登録だけの申し込みでは困難だが、利便性の向上は考えたい。

移動型遊び場

「プレーカー」の導入を

教育長

子ども自身が創意工夫して遊ぶことが大事



地域に出向っていく移動型遊び場「プレーカー」

【中森】プレーカーとは、子どもたちの創造性を育む遊び道具を積載した自動車のことで、町内のいろんな場所に出向いていく車のことである。メリットとしては①広い面積をもつ本町では移動型の遊び場はコストも低く、幅広い地域の方の利用の可能性がある点②夏や冬といった外遊びが困難な季節にも体育館などでプレーカーの遊び道具による身体的な遊びが可能となる点がある。子どもたちの遊びを活性化するために、プレーカーを導入してはどうか。

【町長】本町には、子どもが遊ぶことができる場所が多い。東郷運動公園や羽合臨海公園、潮風の丘とまりなど、身近に自然と触れ合うことができる遊び場がたくさんある。プレーカーの導入は考えていない。

【教育長】大人からあてがわれるものでなく、子ども自身が創意工夫して遊ぶを考える経験が大切。子どもの活動拠点としての5つの放課後児童クラブがあり、そこでは、畑での植え付け、収穫体験、季節行事に関する工作、ヨガ体験、魚釣りなど地域住民との交流で貴重な体験の場となっている。

一般会計補正予算

5925万円を増額

10月臨時会 11月臨時会

10月臨時会

10月臨時会は、10月27日に1日の会期で開催されました。補正予算1議案が提案され、原案のとおり可決しました。

地域の買い物環境の確保を図る

・買物環境整備事業

300万円

買い物環境確保が必要な地域において新

に出店する事業者に対し、建設費・改修費などの一部補助を行う。県の買物環境確保推進交付金なども活用。事業者を支援することで、地域の買い物環境の維持・確保を図る。

町道泊中央線追加工事

・道路橋りょう等災害復旧事業

5184万円

町道泊中央線は、令和3年7月の梅雨前線豪雨により地滑りが発

11月臨時会

生し、対策を進めてきた。さらに、調査観測費・防護柵の仮設費が必要となり、排水ボーリング工など工事費委託料他を増額した。

工事請負契約の締結

11月臨時会は、11月27日に1日の会期で開催されました。補正予算6議案、条例3件など計13議案が提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

旧北浜中跡地に新築移転する、たじりこども園の建設工事（建築・電気設備・機械設備）の請負契約を締結した。

- ・建設工事… 6億5978万円
- ・電気設備工事… 1億1000万円

国民宿舎水明荘第一期改修工事締結

- ・水明荘のリニューアル工事 1億3695万円
- ・観光庁・観光事業への支援事業で行う。

・機械設備工事… 1億5180万円
木造平屋建て一部鉄筋造 令和6年12月27日完成予定。



高付加価値工事が進む水明荘

「令和5年度地域一体となった観光地観光産業の再生高付加価値化事業」として取り組む。

地域で立案する宿泊施設の改修、観光拠点再生計画に基づき実施される支援事業。改修のみが対象補助事業である。高付加価値化改修は、単価を一定割合以上増加させるなど、宿泊施設の収益力が向上する改修をめざす。

9回目となる「ふれあい意見交換会」を令和5年11月10日（東郷地域）、13日（泊地域）、14日（羽合地域）の3会場で行いました。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに対面での実施となりました。議会・町政に対して多くのご意見・提言をいただきました。町行政に関するご意見・要望などは、町長行政局に回答を求め、議会として検討するものは委員会で協議していきます。

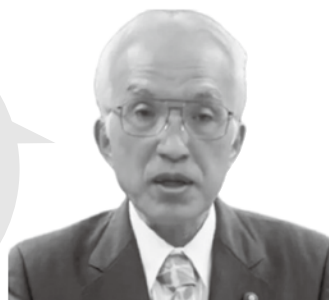
今回号では、ふれあい意見交換会でいただいたご意見などをご紹介します。



河田 洋一
議長

今回は皆さんの顔が見えやすく、意見の出しやすい机の配置にしました。
また、議会を身近に感じていただけるよう意見交換会の名称を「ふれあい意見交換会」に変更しました。

- ・ 泊中央線の災害復旧工事
- ・ 新町川ポンプ場の整備計画
- ・ 旧北溟中学校の跡地利用の3点についての議会での検討状況などを報告しました。



松岡 昭博
総務産業常任委員長



米田 強美
教育民生常任委員長

- ・ 放課後児童クラブの民間委託と今後の課題
- ・ みんなのげんき館事業の当初予算に対し、見送るべきとした附帯決議について報告しました。

- ・ 議会だよりの町民インタビューのリニューアル
- ・ 委員会動画のYouTube化について報告しました。



中森 圭二郎
議会広報常任委員長

3年ぶりに「ふれあい意見交換会」を開催

会場の様子



東郷（中央公民館）



泊（中央公民館泊分館）

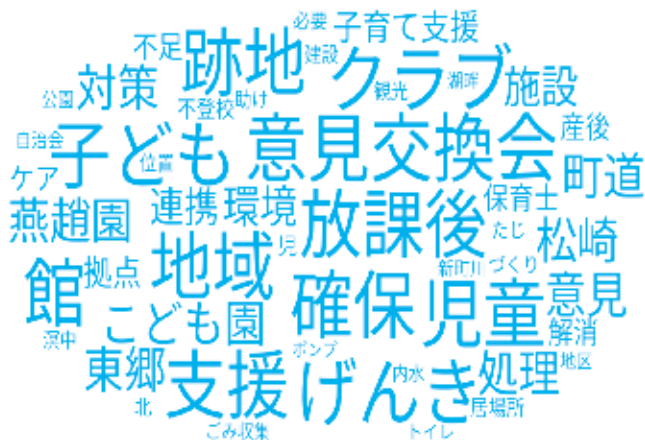


羽合（役場別館講堂）



湯梨浜町議会の
YouTubeチャンネルを作りました。
意見交換会の報告動画は
上記QRコードからご覧ください。

参加したみなさんの 意見のキーワード



意見交換会で出された 意見の今後の流れ

町民 ① 議会に意見を出す

議会 ② 各常任委員会で議論し、
町執行部に提言

町 ③ 議会の提言を受け、町執行
部で検討し、議会へ回答

議会 ④ 町執行部回答を議会で議論
し、町民に周知



磯江 公博
副議長

議会で議論して、町執行部に提言していきたい
と思います。

総務産業常任委員会

視察報告

湯梨浜町の産業振興に向けて調査

10/2 大阪府泉佐野市議会

中世荘園「日根荘」を活かしたまちづくり・観光振興について、以下の3点を中心に調査した。

- ①史跡と景観を活かしたまちづくりの進め方
- ②日本遺産認定後の地域の変化や効果
- ③「全国中世荘園サミット」の意義や成果

10/3 滋賀県長浜市議会

廃校を活用し熟成したウイスキーによる、産業・観光振興について、以下の3点を中心に調査した。

- ①長浜市と株式会社黒壁の関係
- ②長浜ビール会社の体験型ツアー
- ③七尾小学校の跡地利用



<まとめ>

泉佐野市では、日根荘遺跡の景観・施設を保全し、現代社会と融合させながら、まちづくり、観光振興に取り組んでいる。また、他自治体と連携し、全国荘園サミットを開催している。

長浜ビール会社は、蒸留所を利用した体験型観光を行っている。また、廃校を利用してウイスキーの醸成を行っており、資源の有効活用や地域活性化に貢献している。

教育民生常任委員会

視察報告

インクルーシブ教育、子どもの居場所について調査

10/11 岐阜県多治見市議会

インクルーシブ教育の取り組みについて主に3点の事項について調査した。

- ①特別支援教室の確保について
- ②支援員の配置について
- ③インクルーシブ教育の授業づくりについて

10/12 愛知県長久手市 (NPO 法人ながいく)

子どもの居場所について、主に3点の事項について調査した。

- ①子どもの居場所づくりの必要性について
- ②子育ての担当課・学校の連携について
- ③不登校の支援について



<まとめ>

多治見市では、子ども支援課や社協・小規模の遊び場など関係部署が同一フロアに集約されており、利用しやすい雰囲気が作られている。子どもの成長記録「スマイルブック」は、引き継ぎ帳としても機能しており、情報の共有が図られる。

長久手市では、NPO法人が、子育て広場やおやこ食堂・不登校対策など多岐にわたって活動。子どもの第三の居場所が本町に開設できれば、子育ての幅が広がる。子育て支援の充実のため、民間との協力が大切である。

議会広報常任委員会

視察報告

議会と高校生との意見交換会や議会報告会などを調査

10/31 東京都町田市議会

高校生との意見交換会を行っている町田市議会において、下記について調査した。

- ①小・中・高校生、大学生と議会との接点構築について
- ②議会の広報・広聴活動について



11/1 東京都東村山市

年4回議会報告会を行っている東村山市議会において、下記について調査した。

- ①議会報告会について
- ②議会傍聴について

<まとめ>

議会が若者と接点を持つ取り組みを持つことが大事だと感じた。議場見学や仕事体験など、町で行っている取り組みを通じて若者と議会の関わりを持っていく。また、ポスターやチラシといった議会報告会の広報活動を活発にし、内容が町民により伝わるように議員間での事前準備に取り組んでいく。

ようこそ議会へ

～羽合小学校2年生の皆さんが議場を見学～

11月7日、羽合小学校2年生の児童が生活科の授業の一環として、役場の庁舎内と議場を見学しました。

実際に議長席や議員席などに座り、マイクを使用して臨場感を体験しました。



中部町村議会議長会で 功労者を表彰

10月18日、鳥取県中部町村議会議長会の研修会が開催されました。

この中で、米田強美議員と松岡昭博議員が、通算10年以上在職期間とその功労を評価され、自治功労者として表彰されました。



町民インタビュー

「大人が本気で遊ぶ制作現場」

つきよえはがきてん
月夜繪葉書店 藤田 美希子 さん



今回の町民インタビューのテーマは、「芸術」。旧さくら小学校で毎週土曜日にアトリ工兼繪葉書店を開いている画家の藤田美希子さんにインタビューしました。

どうして繪葉書店を開こうと思ったのですか？

ドイツに留学した際に訪れたライプツィヒでは、本の美術（ブックアート）を学べる大学があり、街にデザイナーが空き家に住んでお店を開いていました。クリスマスマーケットではデザイナーがデザインした繪葉書といった商品が並べられ、すごく賑やかだったのが今でも印象に残っています。昔から自分が描いた絵を繪葉書にしていたこともあり、繪葉書ならふらっと見れて手に取ることができると思い、この店を始めました。

お店の中に手紙を書くスペースがありますね。

私は手紙を書くのが好きで、映画『ハリーポッター』でも出てきますが、万年筆や瓶といった手紙を書く



道具はとてもロマンチックだなと感じています。

手紙は、誰かに向けて書いていますが、書いている間は自分に向かう時間にもなっていて、東郷池も見ながらそんな時間を体験してほしくて、書くスペースを作りました。

先ほど、月夜繪葉書店の隣にあるさくらがれすの國本さんの活版印刷ワークショップを体験しました。力の入れ方で印刷具合が変わり、活版印刷の奥深さを知りました。

私もライプツィヒで活版印刷の作品に触れてきたので、活版印

刷やゴム版などの手作りの作品を少しずつ増やしています。活版や活字に興味がある人同士で本気で遊びたいですね。

というのも、高校生にかかわる機会が多いのですが、「絵では食べていけない」と思う生徒も多いと感じています。実際に活版印刷を体験したり、オープンアトリ工を覗いたり、大人が楽しそうに制作している現場を若い人たちに見てもらえたらいいなと思います。



(※すろうぶれすの活版印刷ワークショップは不定期実施。日程は左記QRコードで確認してください。)

○月夜繪葉書店
・営業時間：毎週土曜日 11時～17時
・場所：湯梨浜町松崎619 (さくら工芸品工房) 2階工房C

議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

次回の定例会は

**3月4日(月)～
午後1時開会**

※日程は変更になる場合があります。詳しくは町ホームページへ。

編集後記

年末恒例の十大ニュース。WBC14年ぶりの優勝や大谷選手と明るい話題も多くありましたが、あなたの十大ニュースはいかがでしたか。ニュースの中に新型コロナウイルス「5類」移行がありました。コロナ禍で中止になっていた行事が沢山復活しました。湯梨浜町議会でも視察が行われ、報告が「議会だより」に掲載されています。読んでいただいたでしょうか。視察の結果がすぐに反映できそうなもの、なかなかそうはいかないものなど、いろいろあります。議会広報では、視察の他に「ふれあい意見交換会」の意見を参考に、動画の発信などできることから即取り掛かっており、若い委員長と副委員長に期待するところでです。

(記 米田)

【編集】

議会広報常任委員会